

## 1 題材名 「飛び出す世界をつくろう」

### 2 題材について

#### (1)題材観

本題材は美しい構成や装飾を作り出すデザインの学習として、家の中に飾ったり、誰かにあげたりすることを想定して飛び出すカードの制作を行う。自分の生活と関わりのある主題を設定し、その主題に合わせて、飛び出す台紙の上に色や形をどのように構成していくのか、考えながら表現することが主な学習内容である。デザインという分野は、私たちの身の回りにあふれている。文房具一つをとっても様々な色や形、素材などが選べるようになり、企業ロゴや食べ物のパッケージなどは、それらが伝えるイメージによって商品を選ぶ機会も多い。色や形からイメージを感じ取り、また、自分で目的に合うものや、心地よいものを選び取っていく力は、心豊かに生活していく上で必要であると考え。そこで、美術の授業では、自分のテーマに合わせて色や形などの造形要素を工夫しながら、表現することを計画的に設定していく。

この題材は、色を選ぶ、紙を切って貼るなど、作業面では比較的多くの生徒が取り組みやすいと考える。その反面、完成度を高めるためには多くの試行錯誤が必要となる。自分の構想を、色の感情効果や形のもつイメージ、構成美の要素などと繋げて、他者の視点からも捉えながら表現する。そのために、予め構想シートの中で、造形要素と表現したい雰囲気をつながりについて考えさせながら、制作を進める。また、この作品は、開閉時に動きを伴う半立体の空間の中に、色や形を構成していくという特徴を持つ。そのため、台紙の上にパーツを貼る段階で、空間の見え方から様々なアイデアが浮かんだり、ときには悩んだりすることが考えられる。作品の保管や強度面による、パーツの大きさや位置の制限が加わりながらも、台紙自体が持つ奥行きを生かしながら、より表現したい雰囲気が伝わるような工夫を追求させる。このような制作の中で生まれてくる思考の広がりは大いなのではないだろうか。構想から制作までを通して、生徒の思考力・判断力・表現力を見取ることができる題材であると考え。

#### (2)生徒の実態

##### アンケート結果

##### 1. 美術の授業に興味がありますか？

ある（8名）    どちらかと言えばある（14名）    どちらとも言えない（6名）  
どちらかと言えばない（2名）    ない（1名）

##### 2. 色や形の学習を、自分の生活の中のどのような場面で役立てたいと思いますか？（自由記述）

- ・絵を描くとき（11名）    ・服を選ぶとき（2名）    ・インテリア（7名）
- ・プレゼントを選ぶとき（3名）    ・将来、仕事で何かを伝えるとき（2名）
- ・生活の中で、何かを目にしたとき、色や形から何かを感じ取りたい（2名）
- ・持ち物の色分け（1名）    ・勉強の計画を立てるとき（1名）
- ・わからない（3名）

本校の生徒は美術に興味・関心がある生徒が多く、学習に対して素直に取り組み、目標を理解して活動できる。1学年の生徒はこれまでに、色の三要素および感情効果、形とイメージのつながり、構成美の要素についての学習を行い、色や形に対しての抽象的なとらえ方を練習してきた。生徒の取り組みの状況として、色や形をイメージとつなげて捉えることができる生徒は7割程度見受けられた。ただ、どちらの要素も具象的なイメージが強いために、何かの色や形をもとに発想している生徒も少なからずい

た。アンケート結果からも身近な生活の中で、色や形の学習を役立てたいと考えている生徒が半数程いることがわかった。今後の制作の中で生かしていきたいと考えている生徒も3割程度いるため、色や形を主題に合わせて考えながら使っていくことに対しての興味は高いといえる。

### (3)指導観

本題材を通して、今までの既習事項を意識して応用することでさらに色や形が持つイメージへの理解を深めさせたい。また、誰かに思いを伝えるための作品づくりを楽しみ、その思いが、継続的・意欲的な取り組みにつながっていくよう、構想段階では一人ひとりのテーマが見つかるよう、丁寧に声かけを行っていく。さらに、自分の作品と向き合いながら方向性を見直したり、工夫していったりする力を育てるため、毎時間の活動の振り返りを記述させ、次の活動に繋げる習慣をつけさせていきたい。

## 3 題材の目標

(1)紙の特性を生かして、加工の仕方や組み合わせ方を工夫してより良く表現することができる。

(知識・技能)

(2)自分の生活とのつながりから、主題を生み出し、造形的に美しく構成したり装飾したりするための構想を練ることができる。

(思考力・判断力・表現力)

(3)表現したい雰囲気に合わせて色や形、構成美の要素などを工夫して表現することができる。

(思考力・判断力・表現力)

(4)表現したい雰囲気に合わせて、自身の作品と向き合いながら表現を深めていくことができる。

(学びに向かう力・人間性等)

## 4 評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>紙を切ったり貼ったりする作業を丁寧にやっている。【知】</li> <li>紙の特性を生かし、加工の仕方や組み合わせ方を工夫して、完成度を高めている。【技】</li> <li>色や形、構成美の要素が持つイメージを理解している。【知】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生活とのつながりから主題を生み出し、造形的に美しく構成するための発想や構想を練っている。【発】</li> <li>表現したい雰囲気に合わせて、色や形、構成美の要素が持つイメージを生かして工夫して表現している。【発】</li> <li>メッセージや雰囲気を伝えるための表現の工夫や作者の意図を感じ取っている。【鑑】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して意欲を持ち、毎回の授業で集中して制作に取り組もうとしている。【態表】</li> <li>毎時間の振り返りによって、より良いものを追求しようとしている。【態表】</li> <li>メッセージや雰囲気を伝えるための表現の工夫や作者の意図を感じ取ろうとしている。【態鑑】</li> </ul>

## 5 指導計画（本時2／10）

時	○目 標	・学習活動	評価の観点		
			知・技	思	学
1	○自分の生活との繋がりから主題を考える。	・他者にあげる、家の中に飾るなどの目的を持ち、主題を考える。 ・自分の主題に合った飛び出す台紙を工夫する。		発	態表
2	○主題を基に構想を練る。	・表現したい雰囲気や、色・形・構成美の要素をどのように使うか考え、構想を練る。	知	発	態表
3	○構想シートを基に、制作の材料を用意する。	・飛び出す台紙を丁寧に細部まで美しく見えるように制作する。 ・構想シートをもとに、色の感情効果を考えながら、材料を選ぶ。	知	発	態表
4 ～ 9	○構想シートを基に、意図に合う表現方法を工夫して、パーツを制作する。  ○自分の意図に合う空間の見え方を考えながら、工夫してパーツを貼りつける。  ○振り返りシートに、毎時間の考えやアイデアを記入しておく。	・単純化された形や、見立てた形など、紙の強度を保って作ることができるパーツを、自分の表現意図に合わせて工夫する。  ・広がりや奥行きを持って見えるよう、重ねたりはみ出したりなど、空間上で考えながら貼りつける。  ・振り返りシートに、考えたことや自分の課題を書き込む。	知技	発	態表
10	○互いの作品を鑑賞する。	・完成作品、構想シートを見ながら、工夫した点を振り返り、作品カードに記入する。 ・色、形、飛び出す台紙を生かした配置の3点を鑑賞の視点として設定し、表現の工夫、それらがもたらす感情などを鑑賞シートに記入する。	知	鑑	態鑑

## 6 研究主題との関連

視点1 本時の授業は、自身の主題を見つめ、既習事項を使いながら、一つ一つの造形要素と自分が表現したい雰囲気を関連付けていく段階である。生徒が学んだことを確認し、積極的に使っていくことができるよう、資料を通して考える場面を設定する。

## 7. 本時の指導

### (1) 本時の目標

○主題に合わせて色・形・構成美の要素などが持つイメージを生かした、作品の構想を練る。

(思考力・判断力・表現力)

○主題に合わせて色・形・構成美の要素などが持つイメージを生かそうとする。

(主体的に学習に取り組む態度)

### (2) 本時の観点別評価基準

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
色・形・構成美の要素の性質やそれらが感情にもたらす効果を理解している。	主題に合わせて色・形・構成美の要素などが持つ印象を生かした作品の構想を練っている。	主題に合わせて色・形・構成美の要素などが持つイメージを生かそうとしている。

### (3) 本時の展開 (2/10)

学習活動	教師の指導・支援	評価
<p>○構想シートの主題を確認する。</p> <p>○表現したい雰囲気を伝えるための工夫について考える。</p> <p>○資料AとBを見て、色や形がもたらす印象について考える。</p> <p>・資料Aでは、①②がどのような「秋」を表現しているか考える。</p> <p>①彩度の高い暖色</p> <p>②明度・彩度が低い暖色</p> <p>・資料Bでは、①②がどのような「雪」を表現しているか考える。</p> <p>①3つの大きさの○</p> <p>②3つの大きさの△</p> <p>表現したい雰囲気や伝えたい気持ちを考えて、作品の構想を練ろう</p> <p>○表現したい雰囲気を色・形・構成美の要素と繋げて構想を練る。</p> <p>・色の感情効果を照らし合わせて考える。</p> <p>・線や角の使い方を工夫してパーツの形づくりの方法を考える。</p> <p>・背景、全体の雰囲気を表す形を工夫し、よりテーマが伝わるように考える。</p>	<p>・自分の主題を確認し、構想を練るための準備をさせる。</p> <p>・表現したい雰囲気を伝えるための工夫について気付かせる。</p> <p>→色・形・構成美の要素</p> <p>・発言を板書する。</p> <p>・発言が出ない場合は、色や形の性質に注目できるよう投げかける。</p> <p>①→紅葉、鮮やか、まっさかり…</p> <p>②→落ち着いた、大人っぽい、秋の終わり…</p> <p>①→やわらかい、ふわふわ、おだやか</p> <p>②→つめたい、痛い、はげしい</p> <p>・言葉が浮かばない生徒には、「○○な色」など、イメージを表す言葉が入れられるよう助言する。</p> <p>・構想シートに書き込みが難しい生徒には視覚資料から色・形・構成美の要素の方向性を選ぶよう助言する。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>○評価基準</p> <p>主題に合わせて色・形・構成美の要素などが持つイメージを生かした作品の構想を練っている。</p> <p>○評価方法</p> <p>構想シート</p>

<p>○振り返りシートに、考えたことや自分の課題を書き込み、断続的な授業の中でも考えがまとまるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したい雰囲気や伝えたい気持ち が明確になっていない生徒には、 渡したい人や飾りたい場所を具体的に 想像してみるよう助言する。</li> <li>・飛び出している部分の使い方など、 前回作った台紙の模型に書き込み ながら、イメージを深めるよう助言 する。</li> <li>・振り返りシートに、書き込みが難し い生徒には、うまくできたことや難 しかったことなど、本時の取り組み について書くことを助言する。</li> </ul>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>○評価規準</p> <p>主題に合わせて色・形・構成美の要素などが持つイメージを生かそうとしている。</p> <p>○評価方法</p> <p>振り返りシート</p>
---	---	--